

発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

すまいるたうん



汐入

第140号

平成22年

3月23日



三々輪橋界わい
平成22年9月
第4回

ジョイフル三ノ輪商店街の「ナガオカ」の五十嵐春雄さん（大正14〜平成19）の遺稿集「三ノ輪橋界わい」より

現在、弁天湯があります。これは弁天様（弁天池より由来しているものと思ふ）弁天池は石川日向守の下屋敷にあったものと思われる。

私が五十数年前の子供の折、音無川が常磐線カード手前を右折して通っていたがそのままつすぐ延び瑞光小学校の堀に沿って弁天池に通じる川があった当時それは暗渠となっており、それが弁天池の水源なのか、定かでない。弁天池は弁天湯から瑞光公園まで及ぶ矩形の大池でその中央に中の島があり、岸より橋がかかり、中の島弁天様が祀ってあった。大正六年の古地図には弁天池がのっておりますが、大正八年の古地図にはそれが無いところを見ると大正七年頃に埋められたのであろう。その折の弁天様は現在松田氏の中庭に祀られている。ところが昭和五年一月十日マス屋さん裏手の店より出火、西は小島味噌店より

先は永楽堂パン店（当時は遠藤乾物店）迄全焼してしまった。二度と大火が無い様、今淵富賀志氏・松田長次郎氏（マツダ文具店）・高梨樹吉氏（マスマ履物店）・榎本常三郎氏（橋本薬局）・五十嵐広次等（長岡屋洋品店）が有志となり弁天様が再建されたのである。信者さんも増え年中行事として「お稚児行列」が行われ商店街の子供さんが廿人位参加し裏手の子供さん供々盛大に行われ、私が知っている限りでは松田チエ子氏・現総務部長の高梨和夫氏・甲州屋の名取永吉氏の方々が参加し、その記念写真が現存している。弁天様は昭和中期になくなった。以上は高梨樹吉氏の談話を参考にしました。

火事のことが出ましたので商店街に面したものを記して見よう。裏手の火事は二、三回あったが大正十五年七月やま吉瀬戸物店（当時田中乾物店）の裏側王電に至る西側に長屋が軒をつらねその一軒より出火、松田氏宅を始め、堂迫米店位まで全焼してしまつた。次が昭和五年の高梨さん宅の火事、地祇が昭和四十二年三月十二日に三ノ輪座の裏手の家より出火その附近が全焼したのは知っている人も多いであろう。三ノ輪座は邦画系であり、附近ではマルマン・リビングストアになっていてそこに洋画系のキネマハウスがありともにテレビが

出る迄隆盛を極めた。三ノ輪座の前には相州屋と春日堂甘味店がジョイフル会館の所には角に現西町会にある猪鼻酒店、隣が高木果実店（コスモ不動産）、次がのんきな父さんの大きな看板があった勉強堂菓子店現在公園になっている角に満州屋雑貨店（西町会の横沢氏）隣にヤマシロヤ洋食店（現在榊原電機店）等の店があり、昭和廿年後半まで商店街の中心地であった。然し、大東亜戦争の激化に伴い昭和十九年瑞光小学校より都電に至る所が学童疎開により疎開道路となり、後年瑞光公園とジョイフル三ノ輪会館、第二出張所が建設されることになるのである。昭和四十二年イトヨーカドー三ノ輪店第一号店が出店することによりカネキチスーパー附近が商店街の中心となる変化となるのである。

☆すまいるたうんふれあい亭

◇24日（土）1〜3時

ジョイフル三ノ輪商店街会館

1F

中村実さんの伴奏で昭和の歌を歌い、おしゃべりしませんか。

（ふれあい粋・活（いきいきサロン））

参加無料

☆すまいるたうんふれあい亭

◇5月2日（日）12時半〜3時20分

瑞光ひろば館（ジョイフル三ノ輪近江屋呉服店路地入り左）2F

杉山六郎さんの講演（汐入の歴史）

歌声サロン

参加無料

